

# ミスミグループ 2024年3月期 上期決算報告 と今後の取り組み

2023年10月26日  
代表取締役社長 大野龍隆

## 目次

1. 23年度上期決算概要	3
2. 23年度通期業績見通し	8

為替レート (対円)	FY22 実績		FY23 想定		
	上期	通期	上期 実績	下期 (10/26修正)	通期
USDドル	133.5円	135.1円	141.3円	145.0円	143.0円
ユーロ	138.8円	141.3円	153.5円	155.0円	154.2円
人民元	19.8円	19.7円	19.8円	20.0円	19.9円

## 23年度市況の見立てと当社の取り組み

### 当初の見立て

- EVや半導体等、成長分野を中心にグローバルで設備投資需要が加速
- 米中地政学リスクは高まるものの、リショアリングによる地域別需要が顕在化
- FY23は下期以降本格的な需要回復を見込む

### FY23の市況

上期:中国は需要回復せず、欧米においても景気後退懸念高まる

→ 主要顧客産業の設備投資意欲が減退

下期:一部、市況の底打ちはあるものの、中国の需要は本格回復には至らず

→ 新規設備投資は3ヶ月～半年ほど後倒しの様子

### 当社の取り組み

- 厳しい環境下、次なる高成長に備え地域毎事業モデルの革新を加速

## 23年度上期 決算概要

中国景気回復遅れ・欧米景気後退懸念による需要減速で売上僅かに未達  
足元の需要減で稼働低下および一時的在庫評価損により収益性が悪化

百万円

項目	FY22上期	FY23上期			
	実績	公表値 (7/28)	実績	増減率	
				対前年	対公表
売上高	188,158	181,000	180,094	▲4.3%	▲0.5%
営業利益	26,898	20,000	18,515	▲31.2%	▲7.4%
利益率	14.3%	11.0%	10.3%	▲4.0pt	▲0.8pt
経常利益	27,527	20,800	20,007	▲27.3%	▲3.8%
当期利益	20,240	14,000	14,185	▲29.9%	+1.3%

## 23年度上期 事業別売上高・営業利益

為替効果あるも需要減速により全事業減収、海外FAは本格回復に至らず  
数量減・稼働低下・評価損に加え、攻めの施策に関わる費用増により減益

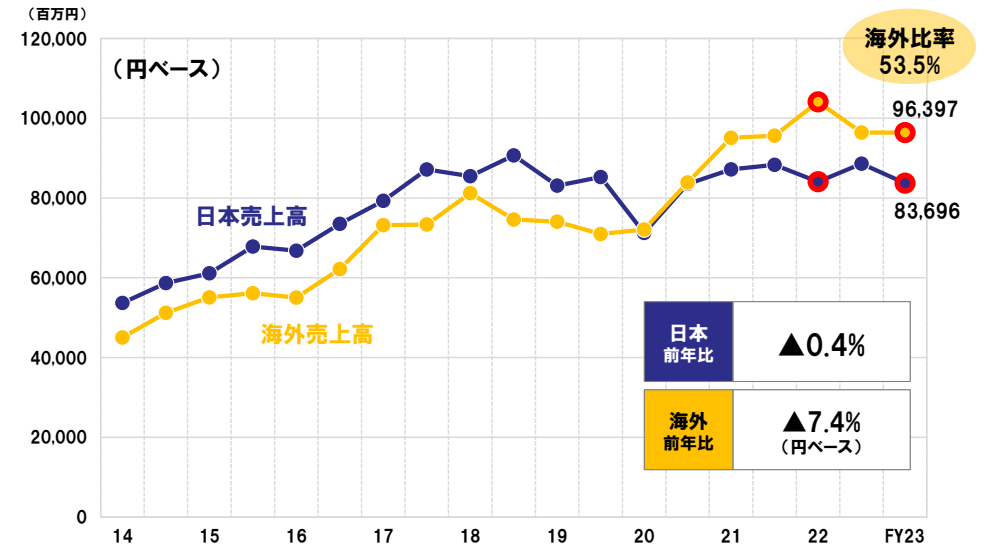
項目	売上高			営業利益				
	FY22上期実績	FY23上期実績	対前年増減率 円ベース (※)	FY22上期実績		FY23上期実績		対前年増減率 円ベース (※)
				利益率	利益率	利益率		
合計	188,158	180,094	▲4.3% (▲6.5%)	26,898	14.3%	18,515	10.3%	▲31.2% (▲36.5%)
FA事業	61,415	57,895	▲5.7% (▲8.0%)	12,241	19.9%	7,317	12.6%	▲40.2% (▲46.0%)
金型部品事業	39,900	39,329	▲1.4% (▲4.8%)	4,732	11.9%	4,301	10.9%	▲9.1% (▲14.7%)
VONA事業	86,842	82,868	▲4.6% (▲6.2%)	9,924	11.4%	6,896	8.3%	▲30.5% (▲35.2%)

※現地通貨ベース

4

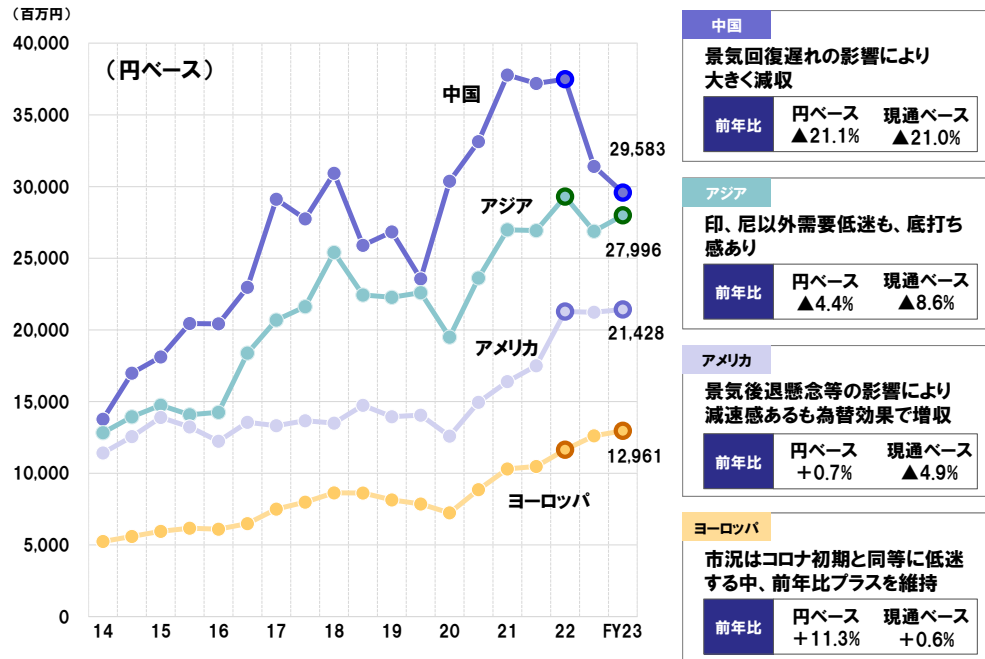
## 23年度上期 日本・海外売上高

日本 自動車関連等の需要が本格回復に至らず、ほぼ前年並み  
海外 中・亜需要減速の影響を受け前年比減収も、前下期と同水準



5

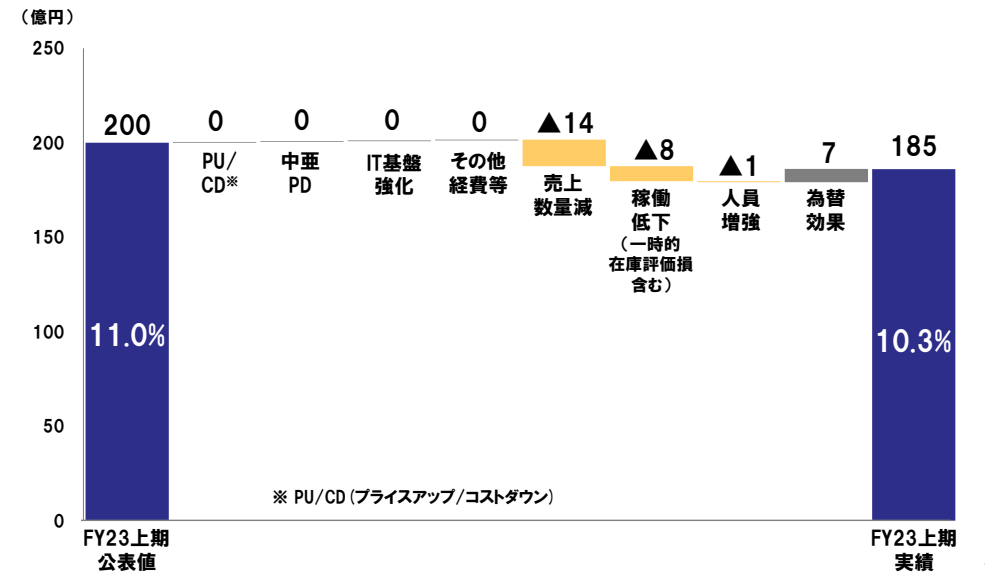
## 23年度上期 地域別売上高



6

## 23年度上期 営業利益増減分析(対公表値)

攻めの施策の実行による費用支出はすべて計画通り  
売上数量減・稼働低下・人員増強の影響は為替効果でカバーできず



7

## 23年度 通期業績見通し

今次、通期公表値(7/28)の修正変更は行わず

- ・ 事業環境の不透明性が高いも、為替含みで公表値達成見込み
- ・ 基盤強化に向けた攻めの施策は継続実行も、その他収益管理を徹底

項目	FY22		FY23	
	実績	見通し (10/26)	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	373,151	377,000	+1.0%	▲1.3%
営業利益	46,615	42,800	▲8.2%	▲14.5%
利益率	12.5%	11.4%	▲1.1pt	▲1.7pt
経常利益	47,838	43,600	▲8.9%	-
当期利益	34,282	30,500	▲11.0%	-

8

## 23年度 事業別売上高見通し

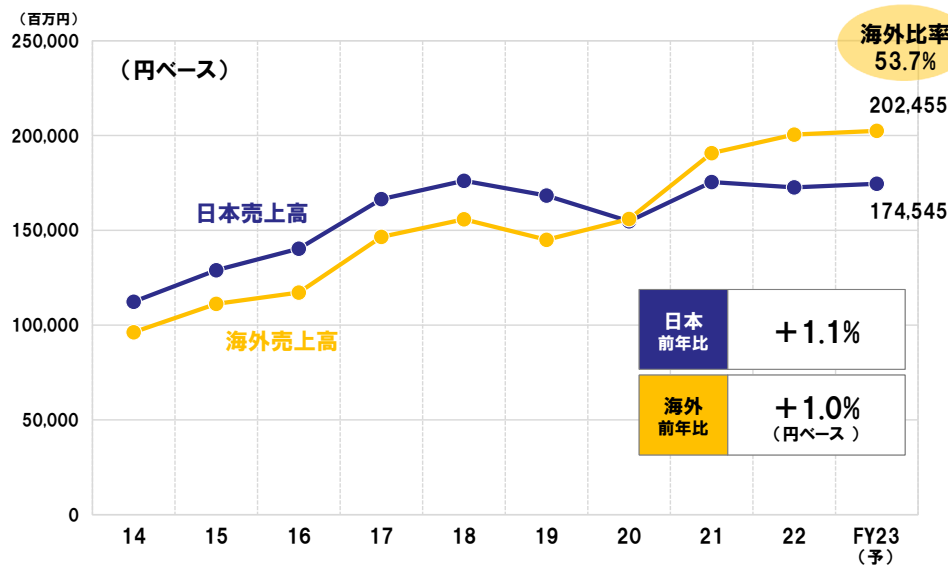
亜の底打ち感、日米欧は期末に向けた回復感あるも中国回復に時間を要す  
為替含みでわずかに増収、全体としての成長は限定的

項目	FY22		FY23	
	実績	見通し (10/26)	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	373,151	377,000	+1.0%	▲1.3%
FA事業	121,932	126,659	+3.9%	+1.4%
金型部品事業	79,125	79,140	+0.0%	▲3.5%
VONA事業	172,093	171,201	▲0.5%	▲2.1%

9

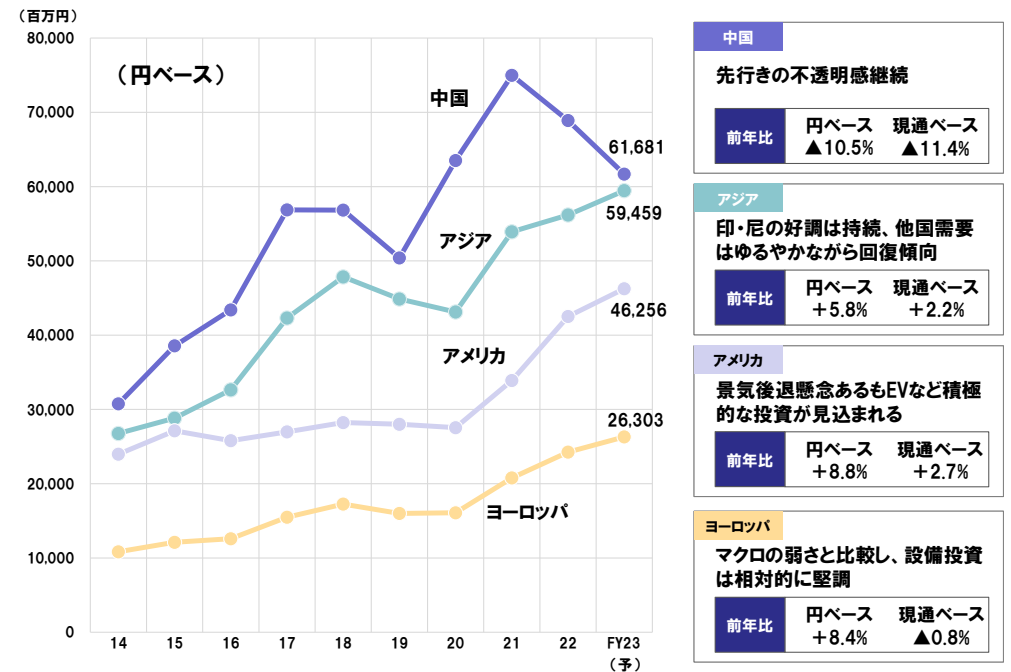
## 23年度 日本・海外売上高見通し

日本 後倒し傾向であった設備投資に回復感、対前年わずかに増収  
海外 亜は反転、米欧の底硬さあるも中国低迷の影響大きく、全体で微増



10

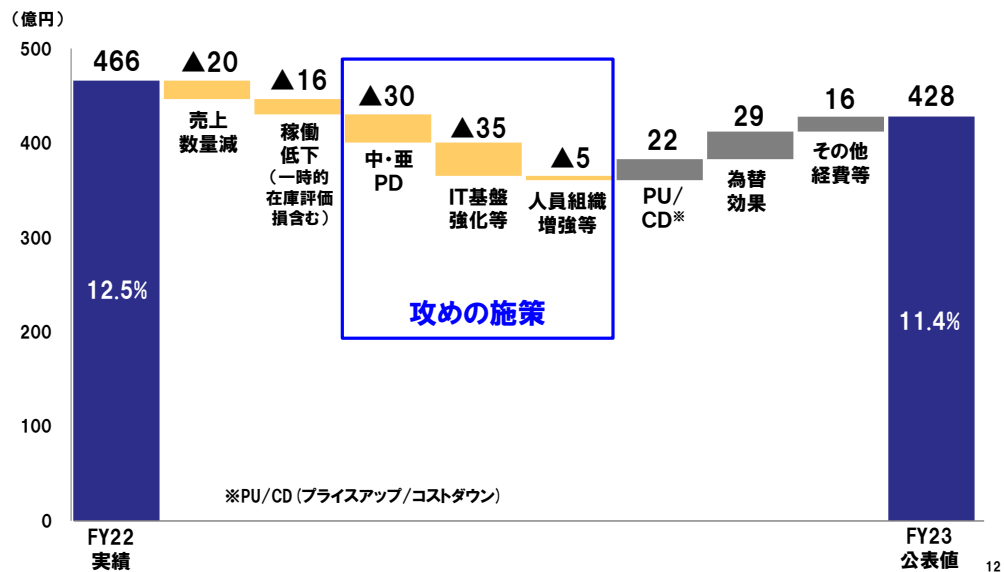
## 23年度 地域別売上高見通し



11

## 23年度 営業利益増減分析(対前年)

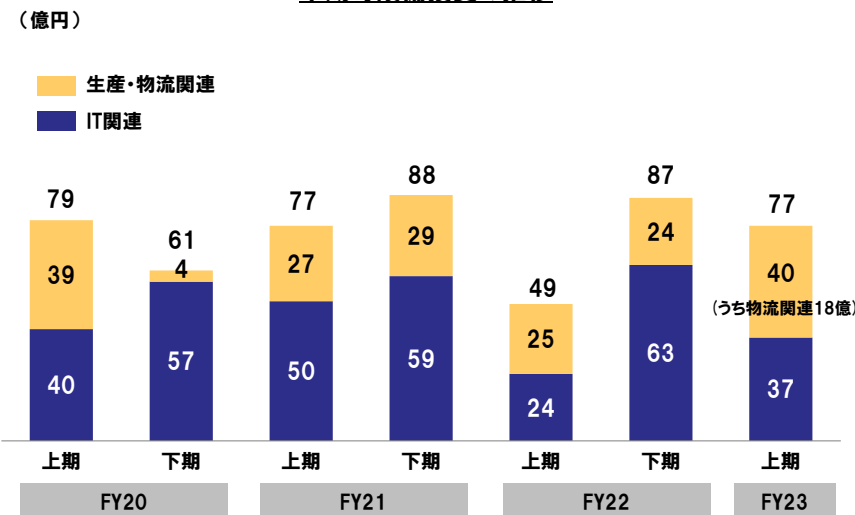
厳しい市況による減益影響あるも、次の成長に向けた攻めの施策を実行  
PU/CD・為替・経費の抑制による収益管理により利益率は一定水準を維持



## 投資実績

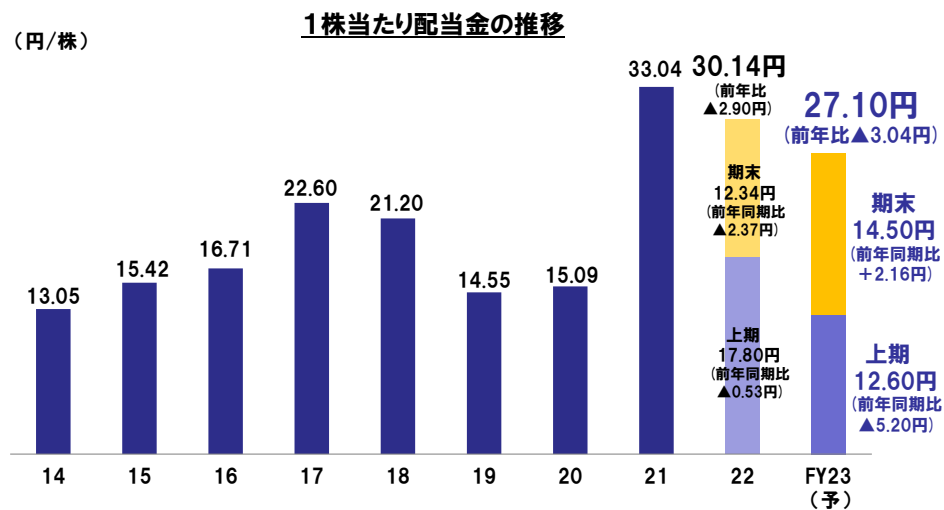
競争力向上につながるIT基幹システム刷新は予定通りに実施  
中国における物流・生産拠点新設は着実に進行、年間計画は変更なし  
(年間計画220億円)

### 半期毎設備投資の推移



## 株主還元

23年度上期配当は12.60円で前年同期比5.20円減  
年間配当は27.10円、前年比3.04円減を見込む



※2015年7月1日をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、配当金についても適及調整しております。

## まとめ

足元需要減速も、モデル革新の継続により次の高成長期に備える

